

## 第18期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 9月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 肥満を伴う 2 型糖尿病小児に対して、基本療法で管理不十分のさい、特別な併発疾患がない場合に内服薬の第一選択はメホルミンである。
- 2 小児において、重症化・劇症化しやすいのは 1 型であり、慢性合併症の発症率も 1 型のほうが高い。
- 3 周囲の友人がある程度糖尿病についての知識を持っていることは、療養生活の上で非常に重要ではあるが、本人が知られたくないのであれば公表しない。
- 4 妊娠の、特に後半では、胎児のブドウ糖利用が亢進する一方、母体ではインスリン抵抗性が高まってブドウ糖利用が抑制される。
- 5 それまで糖尿病と診断されたことのない妊婦で、1 回目に施行した OGTT で 2 時間血糖値が 160mg/dl だった。別の機会にもう一度 OGTT を行うこととした。
- 6 妊娠後期 30 週前後で判明した妊娠糖尿病においては、すでに器官形成期を過ぎているので、妊娠初期ほどの厳密なコントロールは求められない。
- 7 QOL は患者さん本人の主観的問題なので、客観的に測定することは極めて困難であるが、再現性・検証性を確保した科学的評価の方法は存在する。
- 8 患者の入院回数や通院状況の改善といった項目は、患者の療養姿勢のよき評価対象である。
- 9 形成評価は指導中に行われる。